

経営理念の根幹にもなっている「お客様の立場になる。」

この度ロゴマークのデザインをさせていただいた施設は、福岡県飯塚市にある老人ホーム「特別養護老人ホーム 多田の里」さん。美しい自然や充実した設備が整ったこちらの施設は、従業員やスタッフの対応も素晴らしく、現場のスタッフまで教育が行き届いている様子がよく伝わってきます。その根幹となっているのがやはり、経営理念の「お客様の立場になる。」という教えです。例えば若いスタッフがエレベーターに乗る時にでも、常にお客様である老人の方の目線や気配りに抜かりがありません。そのような事から今回の新しいロゴマークデザインの提案も経営理念の根幹にもなっている「お客様の立場になる。」というこの言葉をアイコン化(記号化)していく事が最もこの施設に相応しいロゴマークになるのではないかと思ひご提案させて頂きました。オレンジとグリーンの人が背中合わせで、いつもお客様の立場にいる事を表現しております。早速ご採用頂きホームページや様々なツールで活用頂いております。ロゴマークは作っただけで終わりではなく、その後もロゴに込めた意味を様々な場面で浸透していく事が大切です。

特別養護老人ホーム 多田の里

〒820-0116 飯塚市多田309番地11

TEL:0948-20-4031

http://tadanosato.jp/



Tadanosato

儲かる会社はロゴが違う(その由来とデザインの意味は...) Vol.59

peachの由来は、日本の桃はアジアで人気が高いことから

今年の3月3日に就航を開始した日本の新しい航空会社「peach」。本格的LCC(ローコストキャリア)と呼ばれる、格安航空会社です。日本にもたくさんの航空会社がある中で、見事にポジショニングをついた戦略がとても興味深いです。まずはロゴやネーミングのpeach。日本の桃は、アジアで人気が高いという事から、日本という特徴を見事に捉えている部分や、アジアに向けてという狙いも抜かりないです。そして会社の軸や世界観の中心にも「桃」が活かされています。機内食にもピーチデニッシュがあったり、ドリンクやお酒もピーチづくしです。もちろん従業員もピーチ姫のような社員が多いし、極めつけが3月3日の桃の節句の日にキャンペーンをするあたりが、もう脱帽ものです。

peach

編集後記 「ノラ猫のようなパパ」

私はビジネス上では、愛想よくしていますが本当にプライベートな時は、超無愛想なパパだったりします。その最たる事件が、小4の息子のサッカーの試合観戦である。だいたい試合の時はパパ達はほとんど見にきていませんが、たま～に時間がある時は私も見に行くのです。そうすると応援に夢中になってキャーキャー言っているママ達がたくさんいて、私はどうしてもその輪に入れない。「いや入ろうとしない。」「いや入りたくない。」「いや入りそびれた。」どうでもいいのですが、なので応援はいつも私一人です。しかも1日に4試合もある時は、試合と試合の間はママ達のしゃべりタイムになったりしているのですが、これがまた最高に入りづらい。なので私は、一人で本を読んだり、車の中で待機していたりします。ところが試合が始まると何処からともなく現れ、また一人で応援をしている。そこで私についたあだ名が「ノラ猫のようなパパ」試合の時にだけ現れ、あとは何処にいるのか解らない。まるでご飯の時にだけ現れるノラ猫みたいだそうです。基本仕事以外では、ダメパパなのかもしれませんが、息子と妻にも迷惑かけられないので、めったに試合は見に行きませんが、私がママ達の応援の輪に入れる日がくるのか!?

根本 和幸